

生き物いっぱい 耕さない田んぼ 『不耕起栽培』 藤崎農場×カグヤ米

第82号 2018年9月24日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

カグヤ米の初収穫

5月に田植えをしたカグヤ米の稲。
草刈りをしたり、成長を見守り続け9月に、
ついにカグヤ米の初収穫を行えました！

収量は653キロ。

自然の恵みを噛み締めるには、余りある程の天の恵みを頂きました。

そして、今回初収穫に当たりせっかく行うのだから、
稲刈りも楽しもう！！と

ひょっとこと早乙女に扮した格好で寸劇撮影を行ったり、かまどで
炊いた炊き立てのご飯をおむすびにし、ご飯を食べながら田んぼの中で
収穫祭も行いました。

むかしの田んぼ動画



<https://youtu.be/vwg9bJxEMic>



昔ながらの天日干し「はさ掛け」

藤崎農場：fujisakifarm.com/

日頃お世話になっている藤崎農場さんのHP。

はさ掛け：イネなどの穀物や野菜を刈り取った後に束ねて天日に干せる
よう、木材や竹などで柱を作り、横木を何本か掛けて作ったもの



田んぼの中で収穫祭



かまどで炊いたご飯をおむすびに！

稲刈りを終えて思うこと

千葉県の神崎にある藤崎農場さんの田んぼの一角を今年からカグヤでお借りすることになり、はじめての収穫祭を行いました。

この5年程、毎年田植えや草取り、稲刈りもお手伝いをさせて頂いていたのですが、カグヤ米としての収穫は初ということもあり、せっかくだったら楽しいことをやろう！と、田んぼの一角をまず手狩りして、その中で竈で炊いたご飯をおむすびにして食べ、無事に収穫が出来たことをみんなで喜び合いました。

やはり、これまでのお手伝いとはまた一味違う喜びがあり、さらに田んぼの中でおむすびを食べていると、田んぼの海の中にいるようで、穂が風で揺れるのも直に感じられました。

稲刈りをしたことはあっても、田んぼの中でおむすびを食べるのは初めてで、皆でおむすびを握り、田んぼの中で食べるおむすびは美味しくてたまりませんでした。

私自身大人になってから、田植えや稲刈りの体験をさせて頂くようになりましたが、子どもの頃に今回のような体験をしていたら、また違ったものを感じたろうなと思いました。

みんなでおむすびを食べながら、子どもの頃田舎のおじいちゃんの家で、畑仕事を手伝ってみんなで外でおむすびを食べた記憶が蘇ってきました。

外で食べたおむすびはいつも以上に美味しくて、みんな笑顔で楽しくて今でもいい思い出です。それと同じように、今回もみんな笑顔で過ごせ、幸せなひと時を噛みしめる時間となりました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)

●過去のバックナンバー

第79号

GTサミット 2018②

第80号

第48回保育環境セミナー前編

第81号

第48回保育環境セミナー後編

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。